

IPv6キラーアプリケーションにおける展望 ～ VoIP、IPTV～

2005年12月7日

パネリスト(五十音順)

木村 裕明 総務省総合通信基盤局データ通信課課長補佐
田中 芳夫 マイクロソフト株式会社 業務執行役員 最高技術責任者
常川 聡 東日本電信電話株式会社 技術部技術部門技術評価担当課長

司会

中村 秀治 株式会社三菱総合研究所 / IPv6普及・高度化推進協議会

パネル・ディスカッションへの背景

e - Japanで政策として掲げられたIPv6だが、この12月で5年が経過した。

一部には、結局、普及しなかったのではないか！」との声が聞かれる。

日本より先に、米国が連邦政府機関のIPv6化を明言した。2008年6月末締。

日本政府の政策は「基本法第七条に則り「研究開発」として展開されてきた。

「民間主導」という展開は具体的にどう行なわれたのか。インターネットでは？

KAMEの終結宣言。マイクロソフトのIPv6対応の進展。準備は整った。

世界最大のIPv6ユーザーは多分、ここで、知らないうちに広がっていた。

ブロードバンド、ワイヤレスの普及、政策の必要性、いま、新しいe - Japan

パネル・ディスカッションの流れ

パネル1 :IPv6 と Windows Vista

Networking Trends : 家庭、企業、傾向とテクノロジー
シームレス・ネットワークの構想と利点
IPv6 と Windows Vista そして 今後のロードマップ

パネル2 :IPv6とフレッツ・スクエアの世界

地域 IP網における IPv6の世界
新たな IPv6の活用方法・FLET'S・NET (フレッツドットネット)
VoIP、IPTVといったP2Pやストリーミング等のFLET'S・NET・メニュー
企業利用への拡大と新たなサービス展開のイメージ

パネル3 :政府 IPv6政策のこれまでと次期 e - Japan戦略

5年間で展開された政府 IPv6政策の概要と主要研究開発
米国連邦政府の動きと日本政府の動きの中での次期 e - Japan戦略
情報セキュリティ対策等新たなインターネットに向けて

パネル・ディスカッション :IPベースの世界とVoIPとIPTVとIPv6、ブレイクの鍵

VoIPとIPTVをコストパフォーマンス良く実現しようとした時の IPv6の利点
ワイヤレス・ブロードバンドの可能性とデジタルデバイス対策とIPv6
新しいインターネットの活路を拓くアプリケーション分野とは